

Corporate Profile / Stock Information

会社概要/株式の状況 (2018年6月30日現在)

会社概要

商号	日置電機株式会社
英文商号	HIOKI E. E. CORPORATION
創業	1935年(昭和10年)6月
設立	1952年(昭和27年)1月
商標	HIOKI
資本金	32億9,946万円
社員数	873名(2018年6月30日現在、HIOKIグループ全体)
事業内容	電気計測器の開発、生産、販売・サービス
本社・工場	長野県上田市小泉81
連結子会社	日置フォレストプラザ(株) HIOKI USA CORPORATION 日置(上海)商貿有限公司 HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. HIOKI KOREA CO., LTD. HIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITED HIOKI EUROPE GmbH 台湾日置電機股份有限公司

役員

取締役				
代表取締役社長	細 谷 和 俊	監査役	竹 内 繁 弘	
取締役	岡 澤 尊 宏	常勤監査役	高 木 正 行	
取締役	巢 山 芳 計	常勤監査役	小 川 直 樹	
取締役	水 野 厚	社外監査役	弓 場 法	
取締役	久保田 訓 久			
社外取締役	中 谷 朔 三			
社外取締役	田 中 茂			

株式の状況

発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	8,860名

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年2月
期末配当金受領株主確定日	毎年12月31日(中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (https://www.hioki.co.jp/jp/ir/)に掲載しております ので、ご参照ください。
上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード 6866)



第67期 中間報告書

2018年1月1日❖2018年6月30日

HIOKI

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。

ご回答いただいた方のなかから抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com/>
アクセスコード **6866**

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

HIOKI
日置電機株式会社

本社/〒386-1192 長野県上田市小泉81
TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



日置電機株式会社

証券コード：6866

目次	
株主の皆様へ	P1
市場&製品紹介	P3
トピックス	P4
連結財務情報	P5
シリーズ働き方改革	P6
会社概要/株式の状況	裏表紙

To Our Shareholders

株主の皆様へ

計測器を通じて、未来の社会をより豊かに人々がより幸せに暮らせる社会づくりに貢献してまいります。

2018年8月
代表取締役社長
細谷和俊
Kazutoshi Hosoya



Top Message

自動車・電子部品関連の製品が好調

当中間期は、不安定な世界情勢から先行き不透明感はあるものの、国内含め世界の経済は緩やかな回復基調を維持しております。こうした外部環境のなか、当社の主要顧客である自動車・電子部品業界の設備投資は堅調に推移しました。電動化が進む自動車の研究開発に高精度電力計や大電流かつ広周波数帯域に対応した電流センサ、電子部品の評価検査に生産ライン向け計測器などの需要が増加し、国内および中国、台湾での売上伸長を牽引しました。

開発面では、電気自動車の開発に世界最高クラスの測定帯域と高精度を実現したAC/DCカレントセンサ、高電圧対応のバッテリーテスタ、バッテリー評価に多チャンネル切

替器など、成長市場の要求に対応した新製品を次々と投入してまいりました。

販売面では、6月に台湾に販売子会社を設立しました。台湾は電子部品関連の重要な市場としてさらなる発展が期待されており、当社としてもHIOKIブランドの浸透を図るとともに、顧客の拡大を進めてまいります。

下期は引き続き堅調な需要を見込む

自動車の電動化、スマートフォンなどの携帯端末の高度化に伴い、これら製品の開発・生産・メンテナンスの各プロセスにおける電気計測の需要は継続的に増加すると予測されます。こうしたプロセスに対応する当社製品のすそ野

2018年12月期 連結業績予想 (2018年7月修正)

売上高	22,700百万円	前期比	8.7%増
営業利益	3,070百万円	前期比	22.6%増
経常利益	3,220百万円	前期比	22.4%増
親会社株主に帰属する当期純利益	2,540百万円	前期比	27.1%増

は広く、様々な場面で最適なソリューションを提供しています。事例として「リチウムイオン電池の生産プロセスにおけるHIOKI製品ラインナップ」を3ページで紹介しています。

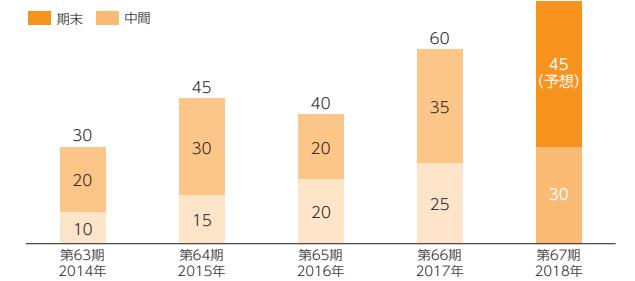
下期は新たに投入した新製品の拡販に努め、通期計画の達成を目指します。

配当による利益還元の充実を

当社はこれまで、1株当たり年間20円の配当を安定的利益還元のベースとした上で、連結配当性向30%を目途として、業績向上による一層の利益還元を実施することを配当方針としてまいりました。

2017年の株主優待制度の見直しを機に、同制度を廃止

1株当たりの配当金の推移 (単位:円)



し配当金による利益還元の充実を図ることに方向性を定め、年間20円の安定的利益還元のベースはすえ置き、連結配当性向を40%に引き上げる方針に変更いたしました。

また当期は当初年間配当予想を65円としておりましたが、利益が増加する見込みとなったため、期末配当を前回予想比10円増の45円とし、年間配当金を1株当たり75円にする予定です。

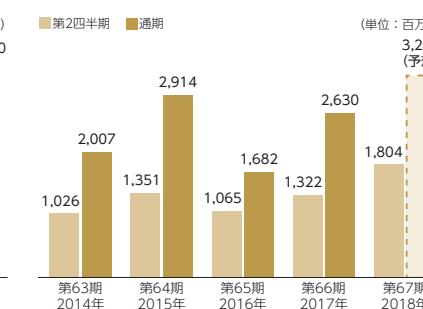
今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、安定的かつ継続的な配当に向けて業績の向上に取り組んでまいります。

決算ハイライト

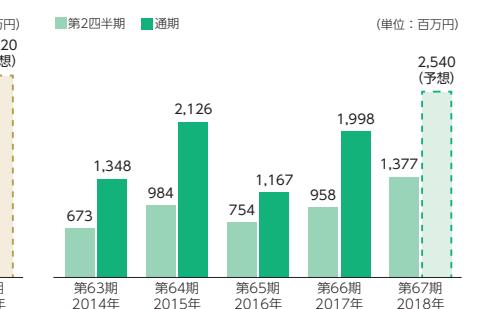
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



本中間報告書に記載の金額は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入により表示しております。予想値は2018年7月に修正しております。

Close-up

市場 & 製品紹介

進化するリチウムイオン電池と生産・開発を支えるHIOKI製品

バッテリーのなかで非常に優れた性能を持つリチウムイオン電池は、これまでノートパソコンや携帯端末向けといった民生品を中心に使用されてきました。

近年、安全性や高出力・長寿命など一段と高い性能や技術を備えた大型リチウムイオン電池が実用化され、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHEV）に展開されています。

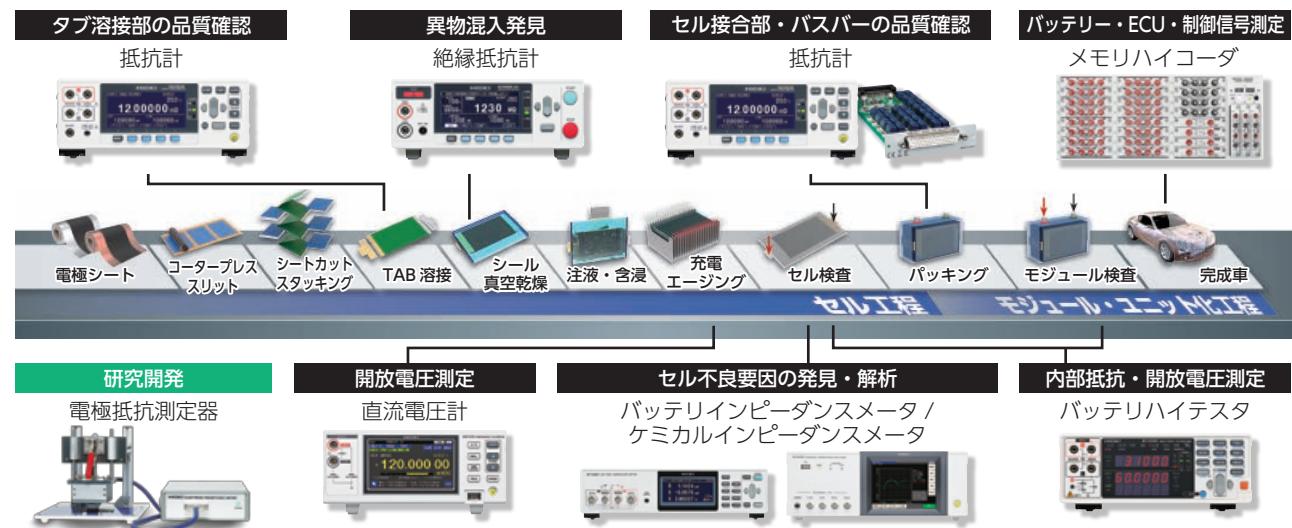
他にも、住宅・業務用蓄電池システム向けやフォークリフト

などの産業機械向けなどへの実用化も進んでおり、市場はさらに拡大するとみられています。

今後リチウムイオン電池から全固体電池や燃料電池へと進んでいくなか、研究開発はますます加速していくことが予想されます。

当社はバッテリー業界向けの計測器を多数ラインナップしており、確かな計測で生産プロセス・研究開発に貢献していきます。

<リチウムイオン電池の生産プロセスにおけるHIOKI製品ラインナップ>



KEY PRODUCT EV・PHEV向け高圧電池ユニット検査に最適 バッテリーハイトスタBT3564

電池電圧1000Vまで測定できるバッテリーハイトスタBT3564を4月に発売しました。近年各国の環境規制強化により、EV・PHEVといった自動車の電動化が進んでおり、EV車に搭載されるリチウムイオン電池をはじめとしたバッテリーの生産が増えています。航続距離を伸ばすため高電圧化が進むバッテリーの内部抵抗を検査できるよう、最大入力電圧を従来製品の300Vから1000Vに上げました。これによりバッテリーの性能検査の対象が拡大し、用途が広がりました。



Topics

トピックス

01 台湾に販売子会社を設立

6月に台湾桃園市に販売子会社「台湾日置電機股份有限公司」を設立しました。これまでは台湾に駐在員事務所を置き代理店サポートなどで実績を積み重ねてきました。

販売子会社を設立することで当社製品の販売、顧客サポート、マーケティング、アフターサービスなど、お客様に対してより身近で広範囲の支援を行うことができるようになりました。今後も発展が期待される台湾市場でのHIOKIブランドの浸透と販売網構築により、さらなる販売実績の拡大を目指します。



台湾日置電機が入居するビル

02 センサ部の形状をスリムにした、ACクランプメータCM3289を発売

3月にACクランプメータCM3289を発売しました。

当社は、保守管理の現場用の測定器としてクランプメータを長年お客様に提供してきました。近年、配電盤の小型化などによって配線が密集しケーブル間隔が狭くなり、従来のセンサの形状ではケーブルをはさめない事例が発生していました。このような状況からセンサ部の形状をスリムにし、狭い配線場所におけるはさみやすさを向上させたCM3289を開発・発売しました。はさみやすいクランプシリーズの第1弾として市場へ投入し、現場向けクランプメータの競争力強化を図ります。



ACクランプメータCM3289

03 製品保証期間3年の対象製品を拡大

これまで現場測定器の約350製品は製品保証期間が3年でしたが、4月1日より新たに323製品の製品保証期間を1年から3年に延長しました。今回の保証対象製品の拡大により、ほぼすべての製品（約670製品※）で3年保証を実現しました。これによりHIOKI製品をご購入のお客様には、今まで以上に安心して製品を使っていただけるようになりました。

※自動試験装置とオプション品は3年保証対象外となります。対象の製品、保証期間等の詳しい内容はHPをご確認ください。

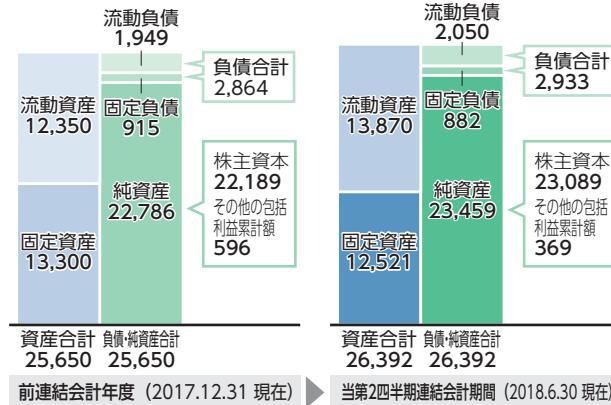


Consolidated Financial Statements

連結財務情報

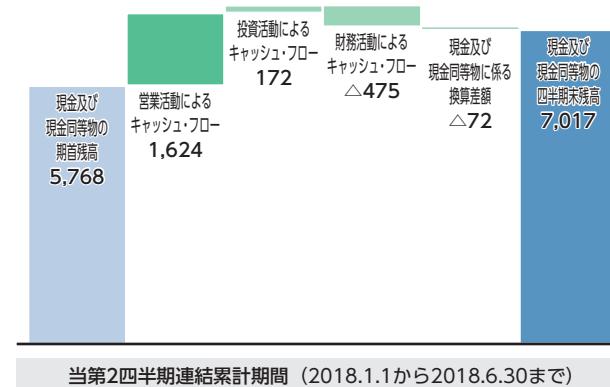
四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



POINT

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したため、前連結会計年度末と比較して7億41百万円増加し、263億92百万円になりました。

負債は、買掛金及び賞与引当金が増加したため、前連結会計年度末と比較して68百万円増加し、29億33百万円になりました。

純資産は、利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末と比較して6億73百万円増加し、234億59百万円になりました。

POINT

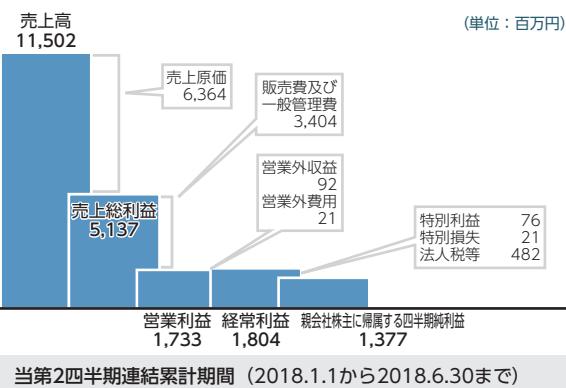
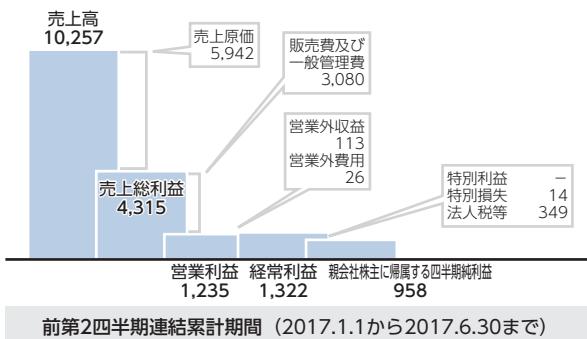
当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して12億48百万円増加し、70億17百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億24百万円の収入になりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益18億59百万円及び減価償却費5億72百万円でありました。主な減少要因は、法人税等の支払額3億89百万円及び売上債権の増加額2億76百万円でありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の売却による収入等により、1億72百万円の収入になりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により、4億75百万円の支出になりました。

四半期連結損益計算書の概要



シリーズ
働き方改革

ダイバーシティへの取り組み —女性活躍の推進—

当社は持続的な成長発展のため、事業のグローバル化を進めています。働く環境として、国籍・性別・年齢などに関係なく、多様な人材が自身の力を最大限に発揮できる体制を作ること、当社の発展に不可欠と考えています。そのため、すべての社員が働きやすく、活躍できる職場環境づくりを目指し社内制度の拡充に取り組んできました。

2016年1月には社内に各部門の社員で構成する「ダイバーシティ推進プロジェクト」を発足させ、2018年3月まで、「働きやすく、働きがいのある新しいHIOKIへ」をテーマに活動を続けてきました。

その活動の一部として、女性活躍推進法の施行による行動計画（目標）を策定し、女性エンジニア採用につながる施策、女性対象のキャリアアップ研修などを実施しました。その結果、女性社員が主体的に活動し、仕事への理解を深め、仕事の幅を広げる活動へとつながっていきました。

今後も、女性活躍という視点にとどまらず、社員一人ひとりが持てる力を十分に発揮し、活躍できる職場環境づくりに取り組んでいきます。

【女性活躍推進の取り組み事例】

- 採用施策（インターンシップ、女性エンジニアとの交流会を開催）
- 女性社員対象キャリアアップセミナー開催
- 異業種交流会への参加・事例発表
- 展示会へ説明員として参加
- 製品研修会の開催
- 子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得



営業部門以外の女性社員が
製品展示会に説明員として参加



女性社員対象
キャリアアップセミナー開催

当社ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースリリース、IR情報、製品情報、CSR・環境活動への取り組みなどをご覧いただけます。

アドレスはこちら

<https://www.hioki.co.jp/>

